

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート										No.	26-3
PDCA	主要事業名	市営住宅用途廃止事業	部課名	建設部建築課	担当		大岩				
					内線		461				
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 2 - 1 単位施策： 市街地										
	全体事業期間： 令和 3 年度 ～ 10 年度 全体事業費等： 524,221 千円										
	会計 一般会計 歳出科目： 07.06.01.02.56										
	事業概要等	事業概要： 市営住宅長寿命化計画に基づき、用途廃止する住宅の入居者と移転交渉を円滑に進めることで、市営住宅管理戸数を適正な数まで縮小させる。									
		事業目的： 適正な市営住宅の管理戸数となるように、計画に基づいて管理戸数を減少させる。									
		事業内容： 老朽化した君ヶ橋住宅1・2棟及び長根西住宅の移転を進め、用途廃止を行う。									
		問題点： 用途廃止する市営住宅の既存入居者の退去に時間を要し、計画の遅れが懸念課題等： される。									
	予算額	主要事業とする理由									
	181,372 千円	本市として市営住宅の適正な管理戸数とする必要があるため。									
	財源内訳										
市費	得られる成果										
115,838 千円	老朽化した市営住宅を用途廃止することで、適正な管理戸数とすることができる。										
国費											
65,534 千円	目標値や目指すべき状態										
県費			令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位					
0 千円	既存入居者の移転の進捗率	実績値	40.0	76.7	—	%					
		目標値	40.0	80.0	90.0	%					
		実績値									
		目標値									
その他		実績値									
0 千円		目標値									
D 実績値 得られた成果と	決算額	得られた成果									
	82,167 千円	用途廃止する住宅の入居者と個別に交渉し、移転を進めた。									
	成果指標					令和5年度	単位				
	既存入居者の移転の進捗率		実績値	88.5		%					
			目標値	90.0		%					
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 君ヶ橋住宅1・2棟の取壊しを完了することができた。引き続き、長根西住宅において、既存入居者の個別の事情に沿った交渉を行い、用途廃止を進める。									
	今後の事業の方向性	現状維持 長根西住宅（112戸）に残っている入居者（9戸）の移転交渉を進め、全入居者の移転を完了する。									
A 課題の解決に向けた	観点別評価	必要性		有効性		効率性					
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない				
		②市民ニーズ	—	⑤成果向上の余地	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない				
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない						